

**使用条件**

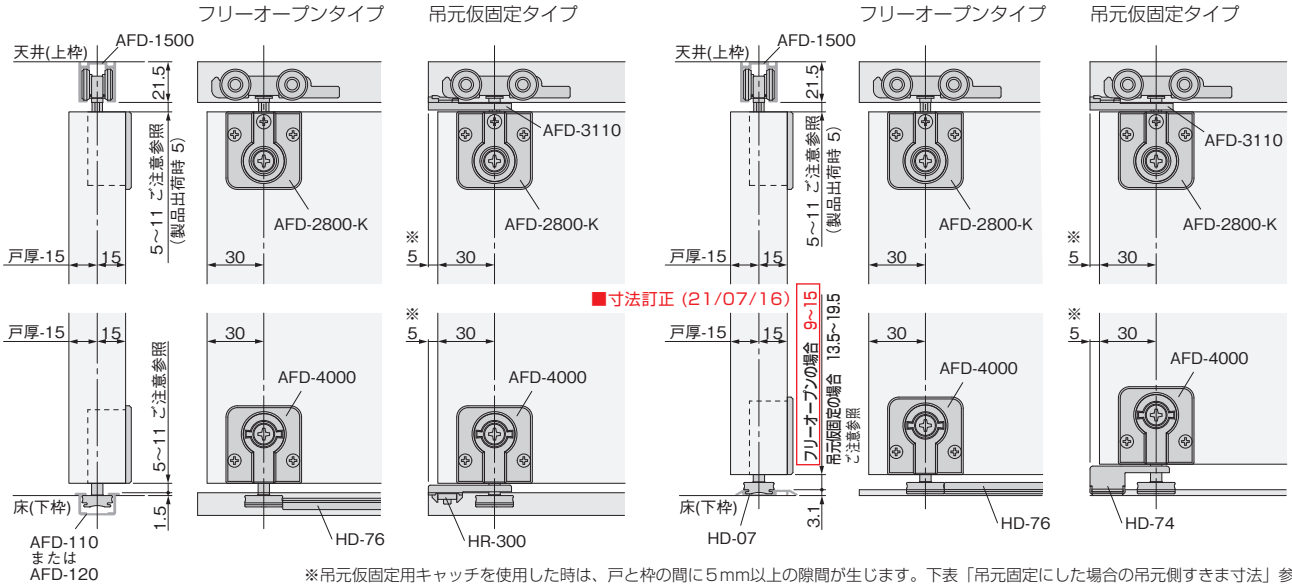
◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下/AFD-2800 20kg以下  
 ◇戸の厚さ:24mm以上 ◇折戸1組の戸幅:800~900mm以下  
 ※折戸1組とは2枚の戸板を丁番により接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

**設計ガイド**

**■金具の納まり参考図**

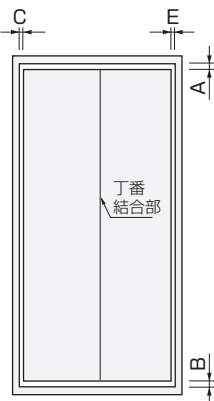
下部レールにAFD-110またはAFD-120を使用の場合

下部レールにHD-07を使用の場合



※吊元仮固定用キャッチを使用した時は、戸と枠の間に5mm以上の隙間が生じます。下表「吊元固定にした場合の吊元側すきま寸法」参照

**■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法**



- 上のすきま  
A=上部レールと戸の間のすきま寸法=5~11
- 下のすきま  
B=下部レールと戸の間のすきま寸法  
AFD-110またはAFD-120の場合=5~11  
HD-07でフリーオープンの場合=5~11  
HD-07で吊元仮固定の場合=13.5~19.5

●左右のすきま(折戸1組の場合)  
C+E(フリーオープンで吊元仮固定キャッチを使用しない場合)  
使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
24	2.7	2.4
27	3.2	2.8
30	3.7	3.3
33	4.3	3.8
35	4.7	4.2
40	5.9	5.2

※戸幅400mm未満で使用する場合にはご相談ください。  
 ※以上のすきまは「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。  
 ※丁番結合部のすきまは0mmの設定です。

**ご注意**

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どしを足した寸法(AFD-110またはAFD-120を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合=10mm、HD-07で吊元仮固定の場合=18.5mm)、あるいは最大値どしを足した寸法(HD-07でフリーオープンの場合=22mm、HD-07で吊元仮固定の場合=30.5mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。  
 上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、AFD-110またはAFD-120を使用の場合、HD-07でフリーオープンの場合:10mm<上下のすきま<22mm、HD-07で吊元仮固定の場合:18.5mm<上下のすきま<30.5mm)  
 すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ、余裕のある寸法を設定してください。

C+E(吊元固定の場合)

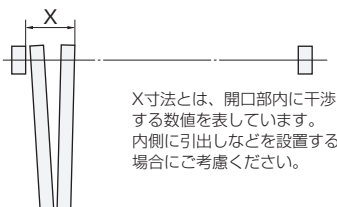
使用丁番: HD-35

戸厚/戸幅	400	450
24	6.4	6.2
27	6.6	6.4
30	7.5	7.2
33	7.7	7.4
35	9.0	8.6
40	12.4	12.0

CまたはEを吊元固定にした場合の吊元側すきま寸法

戸厚	C(またはE)
24	5.0
27	5.0
30	5.0
33	5.0
35	6.1
40	9.1

**■戸を開けた時のX寸法**



X寸法とは、開口部に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にはご考慮ください。

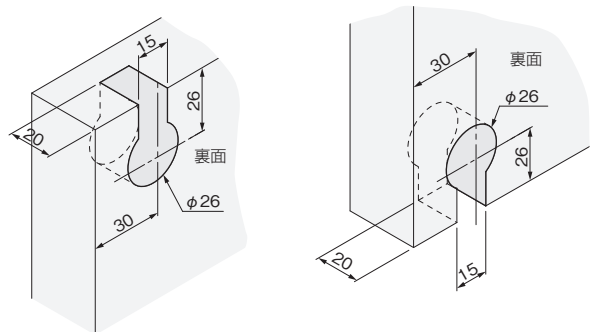
- フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用しない場合  
X=戸厚+98mm
- フリーオープンタイプでHD-76(走行安定用スペーサー)を使用する場合  
戸厚24~38mmの場合 X=戸厚+140mm  
戸厚39~40mmの場合 X=戸厚×2+101mm
- 吊元仮固定タイプの場合  
X=戸厚+100mm+吊元すきま寸法

※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の車の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

**■戸の加工寸法参考図**

上部吊り車(AFD-2800-K、AFD-2800)の取付け加工寸法

下部ガイド(AFD-4000)の取付け加工寸法



ドア錠  
1  
丁番  
2  
スライド  
丁番  
3  
開き戸  
金具  
4  
引戸錠  
5  
引戸  
金具  
6  
上吊式  
引戸金具  
7  
移動  
間仕切  
金具  
8  
折戸  
金具  
9  
室内用  
アルミ建具  
10  
取手・  
引手  
11  
スライド  
ワイヤー  
バスケット  
12  
収納・  
吊金具  
13  
その他  
家具金物  
14  
物干金具・  
諸金具  
15  
真鍮  
アンティーク  
16  
設計  
施工  
ガイド  
会社案内